

## ブルンジ月報（2022年10月）

### 1. 内政・外政

- 1日、ブルンジで最も古い人権団体である「Ligue Iteka」は、ンダイシミア大統領就任以降の人権状況について報告書を発表。同報告書によると2年間で、1470人が殺害、それ以外にも複数の強制失踪、拷問、任意逮捕、性的暴力のケースも報告されている。(SOS Media Burundi)
- 5日、国家安全保障会議事務局長によると、ブルンジ軍の第2陣がコンゴ（民）領内に到着。8月中旬にコンゴ（民）に派遣された第1陣は、二国間の枠組みで活動。今回派兵された部隊は、6月末にEAC首脳により合意された地域軍の指揮下に入る。具体的なブルンジ軍の派兵数については不明。(SOS Media Burundi)
- 7日、ベルギー当局から、セルビア経由でベルギーに到着したブルンジからの亡命希望者が急増し、受け入れセンターに殺到しているとの発表があった。BBCの報道によると、数百人のブルンジ人が、ブリュッセルの道路や公園で寝泊まりし、手続きを待っているという。(Radio Nigeria)
- 12日、タンザニア内相はUNHCRに対し、ブルンジ難民の自主的な送還のための資金援助をパートナーに求める要請書を提出。この要請はスイスのジュネーブで開催されたUNHCRの第73回執行委員会にて行われた。(The East African)
- 14日、ヒューマン・ライツ・ウォッチによると、ンダイシミア大統領就任後も、依然としてンクルンジザ政権下で発生していた構造的な人権問題がそのまま残っていると報告。同国内で主たる人権団体のいくつかは、2015年以降、停止または非合法化されたままである。(Human Right Watch)
- 14日、北西部チビトケ県のキビラ自然保護区に10年以上前に設立されたキニャワンダ語を話す武装集団の少なくとも42人が、ブルンジ兵との衝突で殺害された。(SOS Media Burundi)
- 21日、メルキオール・ンダダイエ大統領の暗殺を追悼して、元副議長のファビアン・バンシリヤニノが、ンダダイエが提唱した民主主義はまだ実現していないと刻まれた花を献げ、論争を巻き起こした。(SOS Media Burundi)
- 22日、ブルンジ内務省は、公式SNSアカウントで、ブルンジの全国境が開かれたことを発表。これは、ルワンダとの国境が開いたことを受けたもの。(Region Week) (当館注：9月末時点で、SNS上でルワンダ・ブルンジ間の国境が開放されていたことを確認。)
- 22日、ブルンジ外務大臣は、東アフリカ諸国及びルワンダとの国境が再び

開かれたことを正式に宣言。ブルンジ・ルワンダ間の国境は、両国の政治的緊張及び新型コロナウイルス拡大により、約 6 年間閉鎖されていた。(AP News)

- 22日、ブルンジ当局は、ツチ族の犠牲者、生存者、親族の権利を守るすべての団体に対し、150人以上のツチ族の生徒の虐殺を追悼するクウィブブ記念碑訪問を禁止。旧フツ族反政府運動 CNDD-FDD の指導者は、「フツ族の犠牲者を優遇している」と批判される一方で、ツチ族犠牲者の権利運動を行う団体の権利を踏みにじっているとされる。(Rwanda News Agency)
- 22日、行政職員の現地視察はすべて NGO が資金を提供することと、ジェルベ・ンディラコブチャ首相と州知事との会談で決定された。NGO の代表は、これは汚職であり、合法化されたに過ぎないと考えている。(SOS Media Burundi)
- 23日、ブルンジ当局はルワンダとの陸上国境が再開されたことを発表。ルワンダが引き渡しを拒否したとされる2015年のクーデター未遂の実行犯容疑者の問題をめぐり、2016年にルワンダとの国境を閉鎖していた。ブルンジは、関係正常化の条件として、現在ルワンダに亡命しているクーデター容疑者の引き渡しを引き続き要求。(Anadolu Agency)
- 24日、ロシアのプーチン大統領は、ブルンジの元第二副大統領であったブトレにロシア国籍を付与。ブトレ氏は2018年にロシアの友好勲章を授与されている。(Euro Weekly)
- 25日、セルビアは、チュニジアとブルンジからのビザ免除の渡航制度の終了を発表。セルビアが域内への移民増加を煽っていると主張する EU からの圧力を受け、セルビア当局はチュニジアとブルンジからのビザなし渡航を中止。2018年5月から運用されていたブルンジのビザなし制度は、21日に取り消された。(BalkanInsigth)
- 25日、セルビアによるブルンジ人入国禁止の決定は、ビザ保持者には影響がないと、シンギロ外交・協力担当大臣が発言。数カ国の空港に足止めされているブルンジ人のための協議が進められていることを明言した。(Bonesha FM)
- 26日、EUは2015年にブルンジの3名に課した制裁を解除。この中には、現首相のジェルベ・ンディラコブチャ首相も含まれている。(IWACU)

## 2. 経済

- 7日、ブルンジ共和国銀行 (BRB) は、同国において「マクロ経済の安定を強化する」ための外国為替取引所の再開、外貨送金の受領の許可を発表。(SOS Media Burundi)

- 18日、ブルンジ・セメント社がセメント価格を上方修正。(SOS Media Burundi)

以上